

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		運動療育センターすきっぷ 美和台教室				公表日	2025年 3月 22日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	・職員が事務作業やミーティングを行う事務所が子供たちも入れる場所にあることは改善が必要と思うが物理的に難しいと思う	現状、大きく改善することは難しいですが個室の使い方を改善するなどしてスペースの確保に努めていきたいと思います。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	88%	13%	・アルバイトさんを積極的に支援や業務に入れる教育が出来ていることはとても良い ・有資格者が8名配置している				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	88%	13%	・対象児童がない ・現在該当される利用者さんがいない	適宜必要な場所や設備等があれば改善していきます。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	88%	13%	・靴箱や手洗い場の匂い改善等必要	至急、改善できるように努めていきます。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	・職員と同じ空間にいるなら使用可能にしている				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	88%	13%	・形として参画しているが、自ら常に意識できているかと言われると微妙。意識できるきっかけ、ミーティングが定期的にあるといいかもかもしれません ・半年に1回実施（事業計画）	定期的な会議の継続、会議の質を高めていきます。また、随時職員面談を通して職員に確認しながら業務改善を進めていけるように努めて行きます。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・アンケートの回答率が高いことはとてもいいと思います ・1年に1回実施。結果はHPで報告	引き続き、アンケートに回答してもらえようように保護者と職員の円滑なコミュニケーションをとることができるようにしていきます。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・直接管理者に報告し、現実化することはあるが、全体でのミーティングでの検討の上、反映することは少ない。そのため、高い意識がある職員と分からない職員に別れてしまう ・満足度アンケート実施	事業所全体で問題を解決し、具体的な期日の設定等を意識して業務の改善に繋げていけるように支援していきます。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	13%	88%	・よくわからない ・外部評価未実施のため	現在、第三者における外部評価は実施しておりません。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	・各種専門職ごとに研修会実施。				
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	・アセスメントを実施し、結果をもとにプログラム作成				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	・モニタリングの内容が毎回充実したものになっていると感じている				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	・計画書にて、支援内容を明確に記載するようにしている ・1人の意見だけでなく、事業所職員の意見も反映しながらモニタリングや個別支援計画を考え進めている				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	・毎日目標の確認をしている ・日々の昼礼で支援を共有できている ・昼礼で支援会議を行っている				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	75%	25%					

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	・担当児童を中心にモニタリング実施。児童発達管理者と主に実施	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	・個別環境のみの児童が数名だけいる	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	・活動計画書の共有をしっかりと行っている ・スケジュールボードを使用している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	・職員間で伝達事項を職員間のみSNSで共有	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	88%	13%		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	・3ヶ月と6ヶ月でモニタリング実施	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	88%	13%	・わからない ・地域交流の中のボランティア等の活動が少なかった	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	・モニタリング時の児童の聞き取りや必要に応じて面談等と一緒に入ってもらっている		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	・各児童の担当者が参加している ・児童発達管理責任者を中心に入っている	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	75%	25%		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	・あまり密に連携はできておらず、担任の先生やスクールカウンセラーさんなどの話が聞ける機会があればいいかも保護者の方を介して行っている。一部保護者が送ってくれない時があるため、学校へ電話し確認している	担当者会議等がある際には、先生やスクールカウンセラーの方とお話の機会はあります。送迎時にも先生と情報共有を密に行えるような取り組みを考えていきたいと思います。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	88%	13%	・担当者会議等を通して共有を行っている ・サポートブック等を通して情報得ている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	75%	25%	・必要時に実施 ・必要に応じて情報提供書などは書かせていただいている	現状、保護者様の希望時に情報提供を行っています。積極的に保護者様へ確認した後に提供書を作成し、提供できるようにしていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	50%	50%	・わからない	
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	25%	75%	・他事業所(同グループ)の児童とは活動する機会はあるが、地域の子どもの交流はない		
33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	50%	50%	・現状、管理者のみ参加している		

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	・報告を毎度行い、共有理解をできるように努めている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	50%	50%	・ペアレントトレーニング等の研修は行えてない ・研修の機会はないが、相談があった場合は情報提供を行っている	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	・分からないが、管理者を信頼している ・支援内容を見学等で説明している	契約時に管理者より説明を行っています。職員が説明できるように人材育成に励んでいます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	・面談を通じてニーズなどを聞き取りしている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	・面談時に説明し、同意を得ている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	・報告時や面談時に行っている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	25%	75%	・行えてない	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	88%	13%		日頃より、保護者様とのコミュニケーションを密に行うことで、風通しの良い事業所作りを努めています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	・インスタグラムを使用して情報を発信している ・月1回事業所内におけるお便りを配布している	継続してSNSの活用や、事業所内通信を作成し、発信できるようにしていきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	・厳重に注意しつつ扱っている	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	88%	13%	・話すことに困っている利用者さんがいない	常時、児童の意思確認や定期的な面談を通じて保護者様への情報伝達に努めています。
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	75%	25%	・秋祭り等で行っている	運営を行ってはいませんが、他の放課後等デイサービスの主催の下、お祭りのイベントと一緒に参加をさせていただいています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	・避難訓練を6ヶ月に1度行っているが、忘れてしまうこともあるので注意が必要とおもう ・定期的に訓練を実施している	各委員会を設置し、定期的にマニュアルを見直し、必要な研修や訓練を実施しています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	・実施し職員に共有している	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	88%	13%	・ピックアップが必要 ・お薬手帳等をコピーしてもらうことを行う場合もある	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	88%	13%	・あまりいないため意識が出来ていないかもしれない ・保護者の方へアレルギーある児童はおやつを持参してもらっている ・医師ではないが保護者さんへの聞き取りを行っている	保護者様に食物アレルギーの有無を確認しています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	・避難訓練等を行っている。避難訓練は年に2回、安全点検は年に3回	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	88%	13%	・わからない ・保護者の方へ契約時に説明済み	
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	・インシデント、アクシデントとして共有	法人全体で共有している、また事業所においても終礼時に安全面に関する振り返りを実施しています。	

53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	・定期的に実施している	定期的なマニュアルの見直し、研修会の機会を確保しています。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	75%	25%	・定期的な研修等を行っている ・現状身体拘束が必要な利用者さんがいない ・現在、対象児童いない為記載なし、契約時には同意を得ている。	現時点で必要としている児童はいないですが、契約時に身体拘束が必要になる場合等を保護者様へ説明し、同意を得ています。